

平成28年度

事業報告書



社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会

【総括報告】

平成28年度は、熊本地震により職員を現地に派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援に始まる年でありました。また、社会福祉法人の一部改正に伴い、公共性・公益性を担保する事業の在り方や公益法人としての性格を明確にする組織の在り方に向けて、定款等の改正をはじめ組織体制について整備を進めて参りました。

さて、平成27年度の過去最大のマイナス改定でありました介護保険料の改定や市内における介護保険事業環境の変化などの影響を受けまして、当法人における経営は厳しい状況にあります。このことから、市社協は、社会福祉法人としての民間事業者である認識の上で、経営的視点を強化すべく企画財政委員会を設置して、経営改善について、恒常的経費の見直しをはじめ事業費の節約、収益に応じた賞与の支給や人件費率の削除などに取り組んで参りました。

地域福祉活動においては、学区（地区）社会福祉協議会と連携し、学区（地区）単位の見守り支えあい推進会議（小地域ケア会議）や、自治会に出向いての福祉のまちづくり懇談会を行う中で、ごみ出しが困難になってきた方への支援や閉じこもりがちな方の居場所づくりなど、くらしの困りごとの解決に向けた取り組みや、見守り活動で地域のつながりを深めていく活動に地域住民の皆さまとともに取り組みました。今後も、地域における課題解決、早期発見の仕組みづくりを重点的に取り組んでいきたいと考えています。

また、孤食など子どもを取り巻く福祉課題の解決の場づくりとして、何らかのさみしさを抱えている子どもたちに栄養のある食事とともに居場所をつくる子ども食堂が計7箇所広がる他、高齢者の居場所づくりやつながりの輪を広げることを目的とした学区単位のふれあいカフェが計4箇所に広がり、取り組みや課題共有の場づくりを支援しました。今後ますます地域における居場所づくりや支えあう取り組みが必要とされる中で、地域の福祉課題を誰もが我が事として受け止めることができるよう、更なる地域福祉の向上を目指して、困りごとと活動をつなぐことのできる取り組みを進めて参ります。

次に、介護保険事業等について、デイサービス事業の延べ利用者数は、昨年より325人減少の15,510人となり収入面では、6,035,614円の減少となりました。ヘルプステーション関連事業は、利用回数としては1,828回増加し、利用時間としては505時間減少したが、収入面では1,710,326円の増となりました。居宅介護支援事業所では、延べ利用者数が252人の減となり、2,023人、収入面で3,688,890円の減となり、介護保険事業全体では、9,189,785円の減となりました。また、障害者総合支援法に基づく、計画相談事業は、利用件数60件増の742件で、収入905,080円の増となりました。居宅介護事業（ホームヘルプ）は、534時間増の1,074時間と倍増し、収入面では、2,315,090円の増となり、障害福祉サービス等事業全体では2,741,263円の増となりました。サービス活動の収益面において、過年度以上に減収減益が増えていることに対し、費用面での支出削減の結果からの抑制ではありますが、収入確保に向けた事業改善が引き続き必要であります。

【事業別報告】

1. 法人運営

〈評価と今後の方向性〉

社会福祉法人制度改革等により、社会福祉法人において益々の経営組織のガバナンスの強化および事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等が言われ、透明性のある組織運営を行っていくため役員が参画した事業戦略や組織、経営基盤の安定確保を図る必要があります。

(1) 会務の運営

① 理事会

本会活動の適正な経営と総合的な活動の推進を図るため、理事会を開催しました。

平成28年度は8回開催しました。

開催日	議事内容
5月30日	1. 平成27年度事業報告について 2. 平成27年度一般会計決算について 3. 評議員の選任について
9月8日	4. 表彰規程の一部改正について 5. 嘱託職員および臨時職員就業規則の一部改正について
9月26日	6. デイサービスセンターきらめきあづち運営規程について 7. デイサービスセンターきらめきあづち（介護予防）運営規程の一部改正について 8. デイサービスセンターほのぼのあづち運営規程の廃止について 9. デイサービスセンターほのぼのあづち（介護予防）運営規程の廃止について 10. 退職手当に関する規程の一部改正について 11. 嘱託職員および臨時職員就業規則の一部改正について 12. 非常勤ホームヘルパー就業規則の一部改正について
11月22日	13. 定款の全部改正について 14. 評議員選任・解任委員会運営規程の制定について 15. 評議員選任規程の制定について 16. 職員の期末および勤勉手当の支給に関する規程の一部改正について 17. 嘱託職員および臨時職員就業規則の一部改正について 18. 非常勤ホームヘルパー就業規則の一部改正について 19. 平成28年度一般会計第1次補正予算（案）について
1月18日	20. 職員の育児休業および介護休業等に関する規則の改正について 21. 職員就業規則の改正について 22. 嘱託職員および臨時職員就業規則の改正について 23. 非常勤ホームヘルパー就業規則の改正について 24. 職員の期末手当および勤勉手当の支給に関する規程の改正について 25. 善意銀行運営規程の改正について

	26. 評議員選任・解任委員会委員の選任について 27. 介護保険事業の整理について
2月16日	27. (継続) 介護保険事業の整理(デイサービス事業について、他の事業者への譲渡手続きを進める。) 28. 評議員選任解任委員会へ別紙のとおり新評議員候補者を推薦する。
3月14日	29. 定款施行細則の改正について 30. 経理規程の改正について 31. デイサービス事業の提案型プロポーザル手続きの中止について
3月24日	32. 平成28年度2次補正予算について 33. 平成29年度事業計画について 34. 平成29年度一般会計収支予算について 35. 職員就業規則の改正について 36. 嘱託職員および臨時職員就業規則の改正について 37. 非常勤ホームヘルパー就業規則の改正について

② 評議員会

本会事業の適正な運営と総合的な活動の推進を図るため、評議員会を開催しました。
平成28年度は3回開催しました。

開催日	議事内容
5月30日	1. 平成27年度事業報告について 2. 平成27年度一般会計決算について 3. 理事の選任について
11月22日	4. 定款の全部改正について 5. 平成28年度一般会計第1次補正予算(案)について
3月24日	6. 平成28年度2次補正予算(案)について 7. 平成29年度事業計画(案)について 8. 平成29年度一般会計収支予算(案)について

③ 監事会

会計の透明性を図るため、監事による監査を実施しました。また、顧問税理士による定期監査を毎月1回定期的に受け、会計事務の透明性、正確性を図りました。

開催日	内容
5月19日	平成27年度の事業報告および決算の監査

④ 評議員選任解任委員会

社会福祉法人制度改革に伴い、新たに評議員選任解任委員会を設置しました。

開催日	内容
3月8日	評議員候補者の選任

⑤研修（社協役員・民児協会長合同研修会）

社協活動についての合同研修会を開催しました。

開催日	内容
3月22日	市社協職員より「私の福祉との出会いとこれから」、意見交換

⑥企画財政委員会

市社協の経営および財政に係る基本的な課題の検討および発展・強化計画の実施状況の点検・評価を行うために委員会を開催しました。

日付	内容
6月29日	委員長および副委員長の選任について 市社協の財務状況について
7月26日	各介護保険事業所の状況について
8月29日	今後について
9月20日	平成28年度経営改善計画（案）について
11月10日	平成28年度経営改善計画（案）の修正について 平成28年度上半期の在宅福祉サービスの収支状況について 平成28年12月支給賞与について
1月11日	平成28年度経営改善計画の進捗状況について 平成28年12月までの在宅サービスの収支状況について

（2）社会福祉協議会の基盤強化

①会費の募集

賛助会費の募集について、役員および職員で取り組みました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
一般会費	6,595,280円	6,548,920円	6,548,920円
賛助会費	546,500円	512,850円	615,000円

（3）苦情解決の実施

社会福祉協議会が実施するサービスの苦情解決を図るため、本所、支所それぞれにおいて、毎月1回職員によるサービス向上委員会を開催しました。

①相談（苦情）件数および事故件数

	H28年度	H27年度	H26年度
福祉サービスに対する相談（苦情）	2件	4件	5件
福祉サービスにおける事故	21件	21件	32件
地域福祉活動に対する相談（苦情）	0件	1件	0件
地域福祉活動における事故	0件	0件	3件
施設管理業務に対する相談（苦情）	0件	0件	0件
施設管理における事故	0件	0件	0件
その他	1件	0件	3件
合計	24件	26件	43件

(4) 第2次地域福祉活動計画の策定

平成27年度に引き続き、策定委員会を5回、作業部会を8回開催し、第2次地域福祉活動計画（平成29年度～平成33年度）「地域福祉活動宣言：私たちは、見守り守られることが実感できるつながりのあるまち近江八幡を目指します。」の策定を行いました。

2. 庶務

〈評価と今後の方向性〉

社会福祉協議会の活動を広報紙「社協おうみはちまん」、「ボランティアだより」を発行し啓発を行うとともに、ホームページ、フェイスブック等を通して情報発信を行いました。

今後も様々な媒体からリアルタイムに情報発信していきたいと考えています。

(1) 広報啓発

市民に対し社協活動や地域福祉への理解を深めるため、広報紙を発行するとともに、ホームページ等を通して啓発を行いました。

また、福祉功労者への表彰と福祉に対する啓発を目的に市と社会福祉大会を開催しました。

①広報紙「社協おうみはちまん」の発行	5月、7月、9月、11月、1月、3月
②「ボランティアだより」の発行	4月、6月、8月、10月、12月
③ホームページ、フェイスブックによる情報発信	随時
④社会福祉大会 と き：平成28年9月24日（土） と ころ：近江八幡市文化会館 小ホール 内 容：表彰、シンポジウム テーマ 災害時にも生きる普段からの配慮とつながる力と支えあい ～平成28年熊本地震に学ぶ～ 講師 コミュニティ・エンパワメントオフィス FEEL Do 代表 栗原英文氏 活動報告者 江ノ島見守り隊 安田利行氏 障害者支援事業所いきいき 外山聖氏 市社会福祉協議会 重野弘樹 参加者：約200名	

(2) 助成事業

福祉団体等に対し助成を行いました。また、寄付者の意向に基づいた子ども福祉活動助成を行いました。

- ①学区（地区）社会福祉協議会に対し助成
- ②団体助成（福祉関係団体助成9団体に助成）
- ③ボランティアグループ助成（13団体に助成）
- ④子ども福祉活動助成（4団体に助成）

3. 受託事業

〈評価と今後の方向性〉

(1) 施設運営管理

総合福祉センターの一部業務（貸館業務）の委託により実施しました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
貸館合計	917.5	1,053.5	1,082
市関係	418 (45.5%)	532 (50.5%)	555 (51.3%)
福祉団体等	390 (42.5%)	381 (36.2%)	383 (35.4%)
社会福祉協議会	109.5 (11.9%)	140.5 (13.3%)	144 (13.3%)

(2) 介護保険総合相談受託事業

介護保険にかかわるサービス向上に向けて、市担当課と連携を図りました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
新規申請相談件数	379件	359件	325件

4. 関係機関事務

〈評価と方向性〉

共同募金、日本赤十字社社資募集について、自治会、団体および事業所等の協力を得て実施しました。

歳末たすけあい募金の助成については、学区（地区）社会福祉協議会や福祉団体が実施する事業等に助成しました。

新たに、住民同士の支えあいによる新たな生活支援の取り組みを応援していくために、赤い羽根共同募金テーマ型募金「近江八幡暮らし支えあい応援募金」に取り組みました。

(1) 近江八幡市共同募金委員会

共同募金委員会事務局として、共同募金の事務や啓発活動を行いました。

①赤い羽根共同募金（募金運動期間：10月1日～12月31日）

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
赤い羽根共同募金	6,696,9639円	6,674,562円	6,694,695円

②歳末たすけあい募金（募金運動期間：12月1日～12月31日）

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
歳末たすけあい募金	4,441,026円	4,459,523円	4,606,686円

③テーマ型募金（募金運動期間：2月15日～3月31日）

	平成28年度
暮らし支えあい応援募金	65,534円

④助成

助成においては、審査委員会を設置し、公正な助成を行っています。

〔一般募金助成事業〕

高齢者福祉活動費	学区（地区）社会福祉協議会の高齢者福祉事業へ助成
児童・青少年福祉活動費	遊び場補修〔金田・岡山〕、福祉活動推進校〔6校へ助成〕
福祉活動対策費	市社協活動〔広報紙、福祉教育、生活困窮世帯食糧支援事業〕 見守り支えあい活動助成〔17自治会・2学区〕

〔歳末たすけあい助成事業〕

歳末助成金	各学区（地区）社会福祉協議会活動〔見守り訪問活動、配食、ふれあい交流活動等〕 社協活動〔ふれあいクリスマス会、見守り支えあいの地域づくりシンポジウム〕 当事者団体等への助成〔10団体〕 見守り活動強化事業〔民生委員児童委員活動〕
-------	---

④災害援護活動

火災見舞金：1件

（2）日本赤十字社滋賀県支部近江八幡市地区

日本赤十字社に協力し、活動資金である社資募集を行いました。

①日本赤十字社社資募集

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
一般社資（個人）	5, 123, 844円	5, 039, 923円	5, 416, 369円
特別社資（法人）	818, 000円	840, 000円	834, 937円

②災害援護活動

火災見舞金：1件

5. 団体事務

〈評価と方向性〉

市民生委員児童委員協議会、市赤十字奉仕団、保護司会の事務局を担い、地域福祉の推進を図りました。

今後とも連携しながら支援を行っていきたいと考えます。

- ①近江八幡市民生委員児童委員協議会
- ②近江八幡市赤十字奉仕団
- ③近江八幡保護区保護司会

6. 地域福祉活動の推進

〈評価と方向性〉

地域福祉活動計画の5年目（最終年）として、目標達成に向けて取り組みました。

見守り支えあい推進会議（小地域ケア会議）の取り組みでは、新たに金田学区において開催しました。引き続き、地域の状況に応じて見守り支えあい活動の輪を広げていきたいと考えています。

また、職員の地域担当制の5年目として、地域に出向く中で、地域の課題に応じた取り組みが推進できるよう関わりを強化したことにより、地域からの相談等が増えています。今後とも、地域の福祉と一緒に考えることのできる身近な存在と感じていただけるよう地域に出向き必要に応じて支援できるよう体制づくりをすすめていきます。

（1）学区（地区）社会福祉協議会との連携による地域福祉活動の推進

①見守り支えあい活動の推進

身近な地域において、福祉課題の共有と課題の解決に向けた取り組みができるしくみづくりとして、自治会単位の「見守り支えあい活動」を推進しました。

見守り支えあい活動の推進を目的に、学区（地区）社協と協働で、学区ごとの状況に応じた推進体制づくりとして「見守り支えあい推進委員会」、および学区単位の話し合いの場づくりとして「見守り支えあい推進会議（学区小地域ケア会議）」、自治会に出向いての「福祉のまちづくり懇談会」を開催しました。地域での会議の開催や情報提供などの支援により新たな取り組みが始まるなど成果が見えています。

◇八幡学区

取り組み項目	内容
研修等	八幡学区社協4役会 福祉委員会の推進について 八幡学区児童福祉グループ会議 5月28日 子ども食堂実施に向けて 学区社協理事研修 5月20日 地域の居場所～子ども食堂と高齢者の居場所づくり～ 6月29日 見守り支えあいのできる地域づくりを目指して 防災協議会研修 6月28日 災害時にも生きる日頃の取り組み 学区社協・ふれまち推進協議会合同理事研修 11月17日 NPO元気の仲間、高島市安曇川地区ボラセン
福祉のまちづくり懇談会（自治会への働きかけ）	12月 2日 第1区福祉委員会 11月26日 土田町福祉会 2月11日 14区福祉委員会
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員会7自治会で取り組み ・ワンコインカフェほっこり（月2回）開始9月～ ・はちまん子ども食堂開始7月～ 夏2回、冬2回、春1回 ・17区ふれあいカフェ開始 ・4区ふれあいカフェ検討開始 ・14区ふれあいカフェ検討開始

◇島学区

取り組み項目	内 容
研修等	生きがい福祉部会先進地視察研修 1 2月7日 長浜市尾上自治会福祉委員活動について 生きがい福祉部会 1 1月16日 視察研修の事前会議 2月 7日 視察研修の振り返り 6月15日 ささえあいの気持ち～避難所生活から考える人権～
福祉のまちづくり懇談会（自治会への働きかけ）	・島町ふれあいサロン2月17日 ・中ノ庄町ふれあいサロン1月18日
取り組みの成果	・ワンコインカフェの開催から島の春まつり3月22日 ・ふれあい福祉部会で見守り活動の推進について協議開始

◇岡山学区

取り組み項目	内 容
見守り支えあい推進委員会	（仮称）見守り支えあい推進委員会設立準備会の開催 第1回 8月4日 第2回 2月14日
研修等	ふれまち研修会6月30日 甲賀市勅旨区の見守り活動について
福祉のまちづくり懇談会（自治会への働きかけ）	3月 5日 山の手ふれあいサロン 3月20日 小船木エコ村ふれあいサロン 1 2月 9日 南津田ふれあいサロン 1月23日 新栄町ふれあいサロン 2月15日 大房町ふれあいサロン
取り組みの成果	・加茂町による見守り体制づくり検討開始 ・南津田による支えあい体制づくり検討開始

◇桐原学区

取り組み項目	内 容
研修	民生委員児童委員・福祉協力員合同会議 6月11日 福祉協力員の役割 見守り支えあい活動の必要性について
福祉のまちづくり懇談会（自治会への働きかけ）	・2月23日緑町ふれあいサロン
取り組みの成果	・日吉野東で見守り組織の取り組み開始 ・新中小森でワンコインカフェ開始

◇北里学区

取り組み項目	内 容
研修	・学区社協総会における研修 4月28日(木) ・自治会長会における周知
福祉のまちづくり懇談会(自治会への働きかけ)	計2回 12月18日(日)小田町ふれあい事業委員会 12名参加 12月23日(日)江頭町福祉会議 15名参加
取り組みの成果	・小田町における毎週サロンの開催および、高齢者支援の検討開始 ・江頭町における福祉会議発足、見守り活動の開始 ・丸の内町における要支援者への定期訪問開始

◇金田学区

取り組み項目	内 容
打ち合わせ	見守りの推進についての協議 12月8日 見守り活動の推進について
見守り支えあい推進会議(小地域ケア会議)	第2回ふれあいのまちづくり学習会において実施 1月28日 見守り支えあい活動の必要性 活動紹介(衣笠台おたがいさん) 自治会ごとの話し合い
福祉のまちづくり懇談会(自治会への働きかけ)	3月10日 駅前自治会ふれあいサロン 3月14日 上田町ふれあいサロン
取り組みの成果	・若葉町における見守り体制づくり検討開始 ・県営住宅でいきいき百歳体操検討(H29~開始予定)

◇馬淵学区

取り組み項目	内 容
見守り支えあい推進委員会	見守り支えあいのまち推進委員会の開催 馬淵学区における自治会単位の見守り支えあい活動推進に関する協議を実施 第1回 5月16日(月) 第2回 10月28日(金) 第3回 2月7日(火)
啓発活動	馬淵学区住みよい町づくり推進講座 6月23日(木) 「だれもが安心して暮らしていくために地域のみんなでできること」 講師:市社協職員
見守り支えあい推進会議(小地域ケア会議)	見守り支えあいのまち推進会議 第1回12月13日(火) ①見守り支えあいの必要性と地域にあった取り組み方について ②グループワーク(地域でやっていること、やっていきたいこと)

福祉のまちづくり懇談会（自治会への働きかけ）	計5自治会 延べ6回 10月22日（土）岩倉福祉のまちづくり懇談会 25名参加 11月 5日（土）馬淵町福祉のまちづくり懇談会 30名参加 3月10日（金）倉橋部町ふれあいサロン 20名参加 2月 4日（土）南新在家女性会総会 20名参加 3月 5日（日）南新在家自治会総会 30名参加 3月19日（日）新巻町自治会総会 20名参加
取り組みの成果	・東川町における高齢化社会を考える会立ち上げ ・千僧供町における見守りマップの共有、課題共有の場づくり ・浄土寺町見守り隊における見守り会議の開催 ・南新在家町 閉じこもりがちな高齢者の居場所づくり開始 ・新巻町いきいき百歳体操の取り組み検討開始 ・倉橋部町見守り支えあい活動への取り組み検討開始

◇武佐学区

取り組み項目	内 容
見守り支えあい推進委員会	見守り支えあい推進委員会 平成28年度から5か年の武佐学区地域福祉計画の推進に向けて、計画推進会議に位置付け、自治会単位の福祉課題解決に向けた取り組みの推進と、学区全体の取り組みについて話し合いながら活動していくことを目指して開催した。 第1回 8月 9日（火） 第2回 11月28日（月） 第3回 2月 8日（水） 第4回 2月28日（火）
研修	学区社協役員研修会 11月14日 長浜祇園元町における見守り活動について
見守り支えあい推進会議（小地域ケア会議）	見守り支えあい推進会議（小地域ケア会議） 第1回 7月29日（金） 見守り支えあいの必要性について わが自治会の取り組み計画の作成 第2回 12月6日（火） 第1回会議後の動き わが自治会の取り組み計画の確認、追記 第3回 2月16日（木） わが自治会の取り組み点検シート
福祉のまちづくり懇談会（自治会への働きかけ）	自治会別 8月27日（土）長光寺町 評議員・組長会議 20名参加 10月29日（土）西生来町福祉のまちづくり懇談会 40名参加 10月27日（木）野田町ふれあいサロン 20名参加
取り組みの成果	・西宿町におけるワンコインカフェの開催（H29～） ・長光寺町における見守り体制構築（H29～活動開始） ・西生来町における見守り体制づくり検討（H29～体制づくり開始） ・野田町におけるいきいき百歳体操の開始

◇安土地区

取り組み項目	内 容
見守り支えあい推進委員会	<p>見守り支えあい推進委員会</p> <p>第1回 5月10日(火)</p> <p>第2回 6月14日(火)</p> <p>第3回 8月22日(月)</p> <p>第4回 9月20日(火)</p> <p>第5回 11月4日(金)</p> <p>第6回 12月20日(火)</p> <p>第7回 1月13日(金) ※居場所づくりメンバーと合同開催</p>
見守り支えあい推進会議(小地域ケア会議)	<p>第1回 6月25日(土)</p> <p>見守り支えあいの必要性と福祉協力員の役割 災害時における障がいのある人の避難誘導 支援が必要な方を見守り支えるために地域でできること</p> <p>第2回 9月27日(火) 南ブロック 9月30日(金) 北ブロック 10月 3日(月) 東ブロック 10月 4日(火) 西ブロック</p> <p>災害時にも生きる見守り活動について 避難行動要支援者支援制度について(市福祉政策課より) 話し合い(今年度中に進めていきたいこと)</p> <p>第3回 2月4日(土)</p> <p>今年度の振り返り 事例紹介 加賀見守り会 わが自治会の取り組み点検シート</p>
福祉のまちづくり懇談会(自治会への働きかけ)	<p>4月21日愛宕町ふれあいサロン</p> <p>4月11日大中町ふれあいサロン</p> <p>5月22日西老蘇見守り隊研修</p> <p>6月15日内野見守り隊会議</p> <p>6月23日衣笠台ふれあいサロン</p> <p>9月10日衣笠台おたがいさん定例会</p> <p>2月 9日東老蘇見守りマップ作成</p> <p>11月29日加賀見守り会研修</p>
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り支えあい推進組織10自治会の継続 ・東老蘇の見守り支えあい推進組織化(H29～活動開始) ・十七 喫茶活動開催(H29～活動開催) ・上十六 ワンコインカフェ開催 ・加賀 コーヒーサロン開催、生活支援開始 ・下豊浦区災害時要援護者支援推進組織立ち上げ

	<ul style="list-style-type: none"> ・下豊浦東における週1回の居場所づくりの検討（H29～開始） ・内野におけるワンコインカフェの検討開始 ・あづち地区サロン活動金曜会組織化（H29～月2回活動開始）
--	--

②地域福祉推進員活動の支援

地域福祉推進員は、各学区（地区）社協に1～2名設置し、学区（地区）社協会長とともに学区（地区）社協事業の企画や運営を行っていただくことを目的に設置するものです。

各学区（地区）社協の連携を深めるとともに情報交換を行うことを目的に地域福祉推進会議を開催しました。今年度は、学区（地区）社協会長、学区（地区）社協担当職員と合同で開催しました。

開催日	内容
9月6日（火）	共同募金運動の実施について 地域福祉活動計画策定の進捗状況について 地域福祉活動の進捗状況に関する情報交換

③福祉協力員活動の支援

福祉協力員は、学区（地区）社協会長が自治会単位に設置をお願いし、委嘱するものです。平成28年度は、各学区（地区）社協で286名の福祉協力員が活動をされました。

ふれあいサロン活動や見守り活動など、身近な地域における福祉活動の必要性が高まっています。今後、福祉協力員の役割と活動内容が地域に浸透していくように、学区（地区）社協および地域福祉推進員と連携し、推進していく必要があります。

◇学区（地区）社協別福祉協力員数 《合計 286名》

学区	八幡	島	岡山	金田	桐原	馬淵	北里	武佐	安土
人数	58	8	27	30	31	27	22	24	59

また、福祉協力員活動の支援を目的に研修会を開催しました。平成28年度は、2回の研修会を開催したほか、各学区（地区）社協と連携し研修会を開催しました。

なお、2回の講座とも公開講座として開催しました。

◇福祉協力員研修会（市域）

開催日	研修内容	参加者
7月29日（金）	ふれあいサロンで使えるレクリエーションについて 講師：レクボラ じゃん・けん・ポン	77名
9月12日（月）	認知症の基礎理解と地域での関わり 講師：渡辺哲弘氏	50名

◇福祉協力員研修（学区域）

学区名		研修名（対象者）
八幡学区	4月23日	ふれあいのまちづくり推進協議会総会研修（福祉協力員）
島学区	4月23日	ふれまち会議（福祉協力員）
岡山学区	6月30日	ふれまち研修会（福祉協力員・民生委員・社協役員）
金田学区	6月4日	ふれあいのまちづくり学習会（福祉協力員・民生委員・自治会長）
桐原学区	6月11日	民生委員児童委員・福祉協力員合同会議（福祉協力員・民生

		委員・自治会長)
馬淵学区	6月4日	福祉協力員研修会(福祉協力員)
武佐学区	6月30日	福祉協力員研修会(福祉協力員)
安土地区	4月22日	福祉交流会(福祉協力員・民生委員)

④学区(地区)社会福祉協議会会長会の開催

学区(地区)社協間の情報交換や連携を行っていくため、学区(地区)社協会長会を開催しました。

開催日	協議事項
5月26日(木)	平成28年熊本地震への支援について 地域福祉の推進について 共同募金運動の推進について 理事会の審議事項について
9月6日(火)	共同募金運動の実施について 地域福祉活動計画策定の進捗状況について 地域福祉活動の進捗状況に関する情報交換
11月16日(水)	理事会の審議事項について 地域福祉計画の策定の進捗状況について 住民参加型生活支援活動の取り組みについて テーマ型募金の取り組みについて
1月12日(木)	理事会の審議事項について 評議員候補者の選任について テーマ型募金について 学区(地区)社協活動の聴き取りについて

⑤見守り支えあいの地域づくりシンポジウムの開催(歳末事業・えにしの日協賛事業)

身近な地域における見守り支えあい活動推進のため、シンポジウムを開催しました。

今後も地域の福祉課題にあった活動が広がるよう、先駆的な活動の紹介や交流等の機会を企画していきます。

開催日	内容	人数
3月11日(土)	テーマ：～いま つながりたい人がいる まちで暮らし続けるために～ シンポジウム ◇ウエルカムコンサート アルトサクソ演奏 村上悦男氏 ◇実践発表 ・身近な近所で見守ります—自治会域の取り組み紹介 14区福祉会 川崎由雄氏、加賀見守り会 梅原修身氏 ・退職後に出会った仲間と —ボランティアグループの取り組み紹介 近江八幡おやじ連 高橋作榮氏	約100名

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちとつながる —学区域の取り組み紹介 むさっ子食堂運営委員会 金澤満氏 ◇講演 「地域に支えあう暮らしを取り戻そう」 講師・コーディネーター 大谷大学文学部 山下憲昭教授 各コーナー ◇喫茶・販売コーナー（作業所や地域のふれあいカフェ） ◇体験コーナー（アイマスク体験等） ◇遊びコーナー（サロンで使える作り物レク紹介） ◇展示コーナー おやじ川柳、子ども食堂、共同募金の使い道など 	
--	---	--

⑥子ども食堂

子ども食堂の実施体制づくりや運営について、6団体7箇所での開催支援を行いました。

名称（実施主体）	開催場所
むさっ子食堂（むさっ子食堂運営委員会）	長期休暇昼食 会場：東子どもセンター 対象：武佐小学校児童（兄弟姉妹可）
はちまん子ども食堂（八幡学区社協）	長期休暇昼食 会場：八幡コミュニティセンター 対象八幡学区に住む小学生（兄弟姉妹可）
スエバあちゃん食堂	月1回夕食 会場：正明寺「門徒会館」 対象：児童、中学生、独居の高齢者
ほのちゃん食堂（社会福祉法人ほのぼの会）	第3土曜昼食 会場：ほのぼの会敷地内「遊楽庵」 対象：上田町自治会の小学生
かんちゃんの小さな家ホットルーム（かんちゃんの小さな家）	年6回程度昼食 会場：かんちゃんの小さな家 対象：滋賀県内全域
きりっ子食堂（きりっ子食堂運営委員会）	長期休暇昼食 会場桐原東小学校・桐原小学校（2か所で開催） 対象：桐原学区の児童

（2）自治会単位の地域福祉活動の推進

①ふれあいサロン活動の支援

住民同士のつながりを深め、支えあう地域づくりのため、各地域でふれあいサロンが開催され、閉じこもりがちな人の居場所づくりや地域における見守り活動として有効な活動として根付いてきています。今後、更に、身近な地域における交流の場と機会が増え、内容が充実するよう、各学区（地区）社協と連携し、推進していく必要があります。

学区	八幡	島	岡山	金田	桐原	馬淵	北里	武佐	安土	合計
地域	19	8	10	17	19	12	6	18	36	145
回数	79	56	98	325	222	583	61	127	475	2,026

②ふれあいサロン交流会の開催

ふれあいサロンボランティア等を対象に、ふれあいサロンの運営に関する情報提供や活動

の様子などの情報交換の機会として交流会を開催しました。

開催日	内容	人数
8月25日(木)	ふれあいサロン活動紹介 話題提供者：南本郷町きずな∞ふれあいサロン 身近な地域のつながりづくりの必要性について 市社協職員情報交換 工夫していること、困っていること、やっていきたいこと等	58名

(3) 関係機関との連携による地域福祉の推進

これからの社会福祉協議会の地域福祉活動推進体制にかかる連携会議開催

実施日：3月29日

講師・コーディネーター 土屋幸己氏

参加者：市福祉政策課職員、市長寿福祉課職員、市社協職員

7. ボランティア活動の支援

〈評価と方向性〉

ボランティアセンターでは、運営委員会を開催し、市民参画による運営を行いました。くらし応援サポーター養成講座の実施や、講座終了後の情報交換により今後の取り組みに向けた話し合いを行いました。今後の取り組みとして、より身近な地域での地域の困りごとと活動をつなぐ仕組みの必要性や、ボランティア同士のネットワークの必要性があります。

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催

① ボランティアセンター運営委員会の開催

市民参画によるボランティアセンターの立ち上げから4年目を迎えました。運営委員会を開催し、運営について協議を行いました。

開催日	内容
5月27日	平成27年度ボランティアセンター事業報告について 平成28年度ボランティアセンター事業計画について
10月17日	くらし応援サポーター生活支援活動の開始について
12月16日	くらし応援サポーター生活支援ボランティアの立ち上げに関する経過報告 平成29年度ボランティアセンターの方向性について
3月13日	平成29年度ボランティアセンターの方向性および事業計画について

(2) ボランティアセンター事業の運営

① ボランティア活動相談

ボランティア活動等に関する情報提供や相談等を行い、活動の支援を行いました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度

登録受付	個人 134 名 団体 120 件	個人 127 名 団体 122 件	個人 119 名 団体 101 件
相談受付・情報提供	1,570 件	1,978 件	1,570 件

②講座の開催

くらし応援サポーター養成講座を開催し、地域での見守りや支えあいの推進を目指して、講座を開催しました。また、退職男性を対象にした講座では、仲間づくりと地域活動に参加するイメージをもっただけのよう講座を開催し、講座終了後に交流会を開催し、仲間づくりきっかけとなりました。

◇くらし応援サポーター養成講座

開催日	内 容	参加者
10月21日	「介護保険制度の改正と地域の居場所づくり」 「高齢者の自立支援と体の状況」 「地域のために、私のためにできることを考えよう」	35名
10月28日	「生活を支援する理由」 交流会	36名
11月2日	「ちょっとしたお手伝いで誰もが暮らし続ける地域を目指して」 生活支援ボランティア スプーン（甲賀市甲南地区） 「内野地区見守り隊の活動について」 内野見守り隊 内田昭教氏	35名

◇キラリ輝く男（おやじ）塾の開催

開催日	内 容	参加者
1月27日	「はじめてみよう！地域活動」市社協職員 「創年期の楽しみ方」余暇生活開発士 楠亀清司氏	11名
2月 3日	「市内の地域活動紹介」市内退職男性グループ（8団体）	8名
2月10日	「料理作りと栄養について」管理栄養士 樋口多津子氏	5名
2月24日	「身近な人との関係について～認知症から学ぼう～」	8名
3月 3日	「今後の活動に向けて 語り合い」	6名

最終メンバーは、5名で、講座終了後に交流会を開催し、今後も情報共有を継続される仲間づくりを支援した。

③安土町ボランティア連絡協議会の支援

ボランティア活動の推進のため、安土地区で活動されている安土町ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

(3) ボランティア保険加入の窓口

①ボランティア保険の手続き

ボランティア活動保険加入の手続き窓口として、事務を行いました。

	活動保険	行事用保険	福祉総合保障
平成28年度	2,575名	83件	4団体
平成27年度	2,627名	59件	3団体
平成26年度	2,533名	49件	2団体

(4) 地域活動相談の実施

①地域コーディネーターの設置

退職前後の男性が地域活動をはじめのきっかけの相談窓口として地域コーディネーターによる相談活動を実施しました。

この相談事業の啓発を行い、相談したい方に知ってもらえるよう取り組んでいきます。

◇地域活動相談

と き：毎週月曜日（第5週を除く） ところ：ひまわり館ボランティアセンター

内 容：退職男性を対象とした地域活動相談

開催日：45日

相談件数：9件（平成27年度 6件）

◇地域コーディネーター会議の開催 3回開催

(5) 暮らし応援サポーターの取り組み

暮らし応援サポーターうさぎのみみ（傾聴活動）

サポーター登録25名、毎月平均8名が利用

定例会を開催

8. 災害時の組織体制の整備

〈評価と方向性〉

災害ボランティアセンターの運営に向けて、市内の関係機関との協力体制や役割など現時点で感じた必要なことを確認し合いました。今後は市域、学区域のネットワークづくりとともに、災害時に社協が災害ボランティアセンターを立ち上げることの意識啓発に取り組んでいく必要があります。

(1) 災害ボランティアセンターの体制整備

①災害ボランティアセンター開設・運営のためのネットワーク構築に向けた検討会議

災害時における災害ボランティアセンターの開設・運営に向けた体制整備として、関係機関における意見交換を行いました。

開催日	内 容
7月6日（水）	平成28年熊本地震復興支援（西原村災害ボランティアセンター運営支援）報告、情報交換、今後の取り組み予定

②災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

近江八幡市が実施する総合防災訓練に参加し、ボランティア約30名とともに災害ボランティアセンター設置および運営訓練を実施しました。また、安土地区社協と協働で、災害ボランティアセンターサテライトセンター運営訓練を実施しました。

開催日	内容
8月28日(日)	災害ボランティアセンター運営訓練 場所：北里農村広場
9月4日(日)	サテライトセンター運営訓練 場所：安土町総合支所防災センター

③災害支援活動に関する職員派遣

派遣先：熊本県西原村災害ボランティアセンター

活動内容：ニーズ把握、ボランティアの調整、ボランティアの案内等

派遣期間：5月2日～5月18日 計3名(各5日間)

5月12日(木)報告会を開催

9. 福祉教育の推進

〈評価と方向性〉

校長会での周知や、学校支援メニューフェアへの出展、学校支援コーディネーターへの呼びかけなど学校に働きかけての福祉教育の推進を図り、学校や地域での福祉教育を実施しました。

(1) 福祉学級

子どもたちに福祉に対する理解や関心をもってもらうことを目的に開催しました。中学生にもボランティアで参加をいただきました。

開催日	内容	参加者
8月10日(水)	夏のふくし学級「みんなの防災ワークショップ」	25名
12月10日(土)	ふれあいクリスマス会(障がいのある子どもたちと交流)	25名

(2) 学校に対する啓発活動

①学校や地域等に対する啓発活動や福祉体験

学校や地域で行われた福祉学習への支援、協力を行いました。

今後は、身近な地域における福祉のまちづくりと福祉教育を一体的に行うことで、子どもたちと福祉活動に取り組む地域の大人のつながりができ、安心して暮らせる地域づくりにつながっていくため、地域の福祉団体と学校が連携した活動体験型の福祉教育を推進していきます。

	小学校	中学校	高等学校	その他
平成28年度	4校30件	—	2校4件	—
平成27年度	6校36件	2校8件	3校4件	2件
平成26年度	5校28件	1校11件	4校6件	2件

(3) 地域における福祉教育の推進

- ①支えあいの地域づくり等自治会単位への職員派遣 30件(平成27年度17件)
- ②学区(地区)域で開催された研修等への協力 18件(平成27年度18件)
- ③団体の研修等への協力 8件(平成27年度5件)

10. 子育て支援事業

〈評価と方向性〉

社会福祉協議会では、市の委託事業として「つどいの広場」事業を実施しています。

今後は、委託事業の実施とともに小地域で取り組みが実践できるように検討していきます。

(1) 子育て支援事業

就学前の子どもとその保護者が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で、情報交換や交流を図る場として「つどいの広場事業」を開催しました。

事業を通して、子育てに不安がある保護者への相談援助活動や地域の子育て支援に関する情報提供、使わなくなった育児用品やおもちゃなどのリサイクル広場を行いました。

また、昼食時や料理教室において食育についてのお話しの場を設けました。今後、より多くの方に参加していただけるよう周知と内容の工夫をしていく必要があります。

開催日：毎週火・水・金曜日(祝祭日、年末年始を除く)

ところ：あいあいの家(安土町上豊浦古民家)

内 容：お話広場(毎月第1火曜日) ティタイム&お誕生会(毎月第3水曜日)

ママ教室 遊びの広場 リサイクル広場

	開催日数	延べ参加者
平成28年度	145日	2,996名
平成27年度	143日	2,916名
平成26年度	144日	2,830名

12. 障がい者支援事業

〈評価と方向性〉

地域との連携や手話通訳の派遣など本会の強みを活かした障がい者支援事業を実施しました。相談支援機関や障がい福祉サービス事業所と連携しながら実施していきます。

(1) 手話通訳事業

聴覚障がい者のコミュニケーション支援のため、手話通訳サービスを実施しました。

日野町、竜王町と委託契約を行い、手話通訳者を派遣しました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
日野町	111件	115件	82件
竜王町	139件	159件	109件
合計	250件	274件	191件

(2) 障がい児福祉活動の推進

①障がい児サマーホリデーサービス事業（市委託事業）

夏休みに障がい児の余暇支援活動を実施しました。

事前に保護者懇談会を開催し、保護者の参加を呼びかけました。また、地域のボランティアや民生委員児童委員の協力のもと事業を実施し、障がい児の地域生活を考える機会となりました。8月9日に保護者交流会を開催しました。

期 間：平成28年7月21日～8月19日の期間のうち20日間

と ころ：安土地区内公共施設、安土小学校、老蘇小学校、きぬがさ作業所

内 容：おやつづくり、おもちゃづくり、レクリエーション、水遊び、交流会

バスによる外出（ラフォーレ琵琶湖、あいとうマーガレットステーション、ブルーメの丘、水生植物園）

平成28年度	療育教室	24名	延べ参加者238名	1日あたり11.9名
	作業教室	2名	延べ参加者 2名	1日あたり1名
平成27年度	療育教室登録	23名	延べ参加者241名	1日あたり12.1名
	作業教室登録	2名	延べ参加者 4名	1日あたり1名
平成26年度	登録児童生徒	15名	延べ参加者147名	1日あたり7.4名
	作業教室登録	3名	延べ参加者 6名	1日あたり1名

②障がい児休日生活支援事業

毎月1回、障がい児の休日の余暇支援活動を実施しました。12月には、「はちのこ」、市内の小学生対象の福祉学級との交流会を実施しました。

また、2月13日に保護者交流会を開催し、4名が参加されました。

開催日：年9回 毎月第1土曜日（7月、8月を除く）に開催

11月は参加者がなかったため活動中止。

と ころ：安土地区内公共施設

内 容：おやつづくり、いちご狩り、茶話会、「はちのこ」、福祉学級との交流会

バスによる外出（探検の殿堂、梨狩り、みなくち子どもの森）

平成28年度	登録児童生徒	19名	延べ参加者59名	1日当たり6.6名
平成27年度	登録児童生徒	16名	延べ参加者67名	1日あたり6.7名
平成26年度	登録児童生徒	12名	延べ参加者63名	1日あたり6.3名

③ふれあいクリスマス会の開催（歳末事業）

日時：平成28年12月10日（土）

場所：総合福祉センターひまわり館ホール

対象：市内の小学生、障がい児余暇支援クラブはちの子
、障がい児休日生活支援事業すまいる

参加者：約60名

内容：バッジづくり、コンサート

13. 備品貸出

〈評価と方向性〉

本所、支所それぞれで実施しました。利用頻度は高く、今後とも実施していきたいと考えています。

(1) 備品貸出事業

①車椅子の貸出

他制度・他施策で貸与や支給が受けられない方を対象に車椅子の貸し出しを行いました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
本所	309件	303件	329件
支所	35件	14件	28件

②レクリエーション備品の貸出

ふれあいサロン活動などのためのレクリエーション備品の貸し出しを行い、地域活動の支援を行いました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
本所	68件	73件	62件
支所	141件	98件	116件

14. 福祉サービスの利用支援

〈評価と方向性〉

地域福祉権利擁護事業の利用者は伸びていますが、生活支援員が1名だけのため、専門員への負担が大きくなっています。

この事業の利用は、今後も増えていくことが予想されることから、職員体制の充実を図れるようつとめていきます。

(1) 総合相談事業

住民の身近な相談所として、また、福祉課題の把握の窓口として、各種相談事業を実施しました。心配ごと相談は、本所で月4回、支所で月1回開催しました。今後も周知を行っていく必要があります。

	相談日数	相談件数	平成28年度	
心配ごと相談(本所)	50日	21件	47日	17件
	(支所) 10日	1件	10日	1件
弁護士相談	11日	62件	67件	
司法書士相談	2日	10件	10件	

(2) 地域福祉権利擁護事業

①地域福祉権利擁護事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活ができるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類預かり等を行う事業

を実施しました。行政や地域の障がい者支援センターからの相談から契約にいたるケースが多くありました。契約件数は年々増加しています。

	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談援助件数	1,124 件	1,177 件	1,396 件	0 件	3,697 件
新規契約件数	11 件	3 件	2 件	0 件	件
年度契約件数	26 件	24 件	30 件	0 件	件

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
契約件数	80 件	75 件	70 件

②利用者交流会

地域福祉権利擁護事業利用者の孤立を防ぐことを目的に利用者交流会を開催しました。この交流会は、本事業利用者が地域でのつながりが少ないという課題が明らかになり、平成 23 年度から実施しています。障がいのある方の居場所づくりの必要性があり、今後検討していく必要があります。

開催日	内容	参加者
6月18日	音楽鑑賞、昼食会	8名

(3) 生活福祉資金貸付

①生活福祉資金貸付事業

滋賀県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業の相談窓口として、相談支援活動を通して貸付事業を実施しました。

貸付手続きだけでなく、申し込み相談の内容からその世帯の抱えている、問題点を把握し、他の福祉サービスに繋げることができました。

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
相談件数	53 件	82 件	59 件
新規貸付件数	16 件	8 件	9 件

②小口生活資金貸付事業

生活保護適用までの方やすでに生活保護を受給されている方を対象に近江八幡市の補助事業として小口生活資金貸付事業を実施しました。

借受者の実数、延べ人数とも平成 26 年度より減少しています。

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
貸し付け件数	19 件	50 件	91 件

(4) 生活困窮者支援

①食料支援

一時的に食料がない方に対して、世帯人数に応じた食料をお渡ししています。

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
支援世帯	27 世帯	10 世帯	20 世帯

15. 高齢者支援サービスに関する事業

〈評価と方向性〉

介護保険の対象とならないサービスのため、利用者からのニーズが高く、引き続き事業を実施していきます。

(1) 福祉輸送事業

公共交通機関の利用困難な要介護高齢者を対象に通院の送迎を行いました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
延べ件数	113件	256件	100件

(2) 生活支援事業

独自事業として、公的サービスでは対応できない一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、通院介助や入院時の洗濯などのサービスを引き続き実施していきます。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
延べ件数	77件	249件	211件

依頼

16. 介護保険事業

〈評価と方向性〉

介護保険事業は、社会福祉協議会の収入の大きな柱となっておりますが、利用者の減少などにより厳しい運営となりました。平成30年度の制度改正により収入の減少が予想されるため、サービスの質を落とすことなく、効率的な運営を実施いたします。

(1) 居宅介護支援事業

主任介護支援専門員2名を含む5名体制で業務を実施しましたが、利用件数を減らす結果となりました。

	要支援	要介護	合計
平成28年度	140件	1,883件	2,023件
平成27年度	170件	2,105件	2,275件
平成26年度	74件	1,991件	2,065件

(2) 通所介護・介護予防通所介護事業

① デイサービスセンターひまわり

重度の要介護の方は、一般的に施設入所となる傾向にあるにもかかわらず、重度の要介護の方の件数を増やすことができました。

	要支援	要介護	合計
平成28年度	288件	6,798件	7,086件
平成27年度	306件	7,611件	7,917件
平成26年度	316件	6,915件	7,231件

② デイサービスセンターきらめきあづち

同様に減少傾向にあり、契約者数の底上げをする努力を引き続き重ねてまいります。

	要支援	要介護	合計
平成28年度	184件	6,535件	6,719件
平成27年度	341件	5,991件	6,332件
平成26年度	351件	6,924件	7,275件

(3) 認知症対応型・介護予防認知症対応型通所介護事業

① デイサービスセンターほのぼのあづち

重度の要介護の方を受け入れたことで、一人の利用者にかかわる比重が重くなり、延べ利用者の受け入れが減少しました。

	要支援	要介護	合計
平成28年度	0件	1,711件	1,711件
平成27年度	0件	1,592件	1,592件
平成26年度	0件	1,709件	1,709件

(4) 訪問介護・介護予防訪問介護事業

① ヘルパーステーションあづち

	年間延べ	身体介護	生活援助	乗降介助	合計時間
平成28年度	9,935回	5,114時間	1,922時間	112時間	7,149時間
平成27年度	8,107回	5,426時間	2,157時間	71時間	7,654時間
平成26年度	9,958回	5,429時間	2,249時間	89時間	7,767時間

17. 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業

〈評価と方向性〉

障がい福祉サービスについては、事業規模は小さいながらも契約件数が増加傾向にあり、今後も事業強化を図ってまいります。

(1) 介護給付事業

① 居宅介護事業所

	身体介護	家事援助	合計時間
平成28年度	706時間	368時間	1074時間
平成27年度	161時間	379時間	540時間
平成26年度	34時間	158時間	192時間
平成25年度	57時間	167時間	224時間

② ガイドヘルプひまわり

	居宅介護	同行援護	合計
平成28年度	66件	94件	160件
平成27年度	151件	307件	458件
平成26年度	121件	295件	416件

(2) 相談支援事業

障がい者福祉サービスや障がい児通所支援の申請に係るサービス等利用計画案を作成するとともに、サービス等の利用状況を確認し、計画の見直しやサービス事業者等との連絡調整を行いました。

①相談支援事業所

	障がい児	障がい者	合計
平成28年度	255件	487件	742件
平成27年度	168件	514件	682件
平成26年度	9件	410件	419件